

各位

東京都中央区京橋二丁目5番18号
 株式会社マネースクウェア・ジャパン
 代表取締役社長 山本 久敏
 (コード番号：8728 大証ヘラクレス)
 問合せ先 代表取締役副社長 相葉 斉
 電話 03-5524-8880(代表)
<http://www.m2j.co.jp>

T-EQ 診断リリースのお知らせ

株式会社マネースクウェア・ジャパン(本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本久敏、以下「当社」)は、投資家保護と健全な市場育成のため、「Emotional Intelligence Quotient (EQ)」の研究開発メーカーである株式会社イー・キュー・ジャパン(本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：高山直、以下「EQ Japan」)の協力を得て、投資家向けEQという新しいコンセプト「Trader's Emotional Intelligence Quotient (T-EQ)」を開発し、リリースいたしましたので、お知らせいたします。

【T-EQ 開発の経緯と意義について】

NO 1 氏名 M2J01.00 診断日 2008/1/10

1 T-EQ フェース・ボディ分析

2 欲・不安分析

3 リーダーチャート

4 診断カルテ

評価	現在の状態	投資スキルアップ術(処方箋)	T-EQ(感情能力)の能力開発
気力(右目)	適切	エネルギー満ち、気力のバランスが保たれています。積極的に物事を成し遂げようとする意思が強いので、スムーズに状況判断や決断できる状態です。	投資において良い気力のバランスを持っています。今まで通りの心持で望みましょう。
自己コントロール力(右額)	適切	怒りや不安を抱えたとき、また楽しさや喜びなど感じたときでも、自分の感情状態を捉え、感情に誘われて売買はしないよう自分の感情をコントロールしている状態です。	感情のコントロールが良好な状態です。現状の維持が、好結果につながります。
純感性(鼻)	高すぎる	強い衝動に対しては、後戻りしすぎず、また、売買判断のタイミングを逃し、決断が遅れる傾向があります。	衝動に対して自然と構えるというのも、投資に勝つ大事な要素ですが、いつでも自然と構えて良いわけではありません。これは見方を換えれば決断が早いとも言えます。予め売買ポイントを設定の上、指値を有効に使う。本当の意味で感情と構えることが出来ます。
忍耐性(口)	低い	ストレスを感じたり、逆にストレスがあると感じることが出来なかったり、ストレスを上手く対処できない状態です。当初期待したように取引スタイルを維持できない可能性があります。	ストレスがないと思っている人は、リスクを感じにくい状態。物事は根気よく続けることが大切です。逆にストレスがあると思えば、悲観的になりやすくなります。冷静な現実を見直し、思い通りに自分の投資をしてみる気持ちが必要です。
柔軟性(左頬)	高すぎる	投資スタイルに固執しすぎたり、相場の変化に振り回され、相場に合わせた売買が多くなりやすい状態です。また、人の意見を取り入れず、自分の投資スタイルがブレ、相場に合わせた売買が難しい状態です。	自分なりのルールを守る意識がひとつの改善点になります。その意識が高い場合は、インフォメーションを特定し、後は様子を見るのも一考。信念の元で情報の拾取選択をしましょう。
感受性(左耳)	高い	相場は相場に関する情報に感情が誘われることは多いですが、相場が大きく変動すると情報に対して感情が誘われてしまい不安な取引を繰り返しやすい状態です。	M2Jの投資哲学を学び、改めて自分の資産運用としての取引は何なのか、考えてみましょう。
素直性(右耳)	高すぎる	取引の評価や相場状況に対して過度にプラス思考のため、値動きに合わせた決断にならないうい状態です。また過去の成功体験を信じすぎたり、買った後上がり相場になるだろうという希望をもちやすい傾向があります。	相場の世界では、適切な素直性のあるタイプは注目に値します。相場に絶対はありません。あらかじめ損をしたときの対応法をあらかじめ決めて、集中力を高めるよう努めましょう。
攻撃性(左目)	低すぎる	リスクばかりに気を取られてしまうため、困難な局面になると逆断的な判断を行うこともありますが、利益を伸ばすより損失を避けることを優先するあまり、売買のタイミングを逃してしまったりもがあります。成功後の心算に陥りやすい状態です。	投資の趣意とは、リスクとリターンを上手に取る事。どうせ投資をするのであれば、多少のリスクを取ってでもリターンを望むのが本来の目的です。まずはリスクを具体的に知り、計画性を持って戦略的な取引をしてみれば如何でしょうか。

Copyright © 2008 MoneySquare Japan, Inc. All rights reserved. 開発協力 EQ Japan, Inc

EQとは感情能力のことで、自分の感情を上手に管理し活用する能力です。人間であれば誰でも備えており、かつ誰でも開発可能な能力となります。EQは人間のOS（オペレーションシステム）として機能し、EQを上手に使うことで、アプリケーションである知識、技術をさらに上手に活用できます。

投資においてもEQは重要であり、投資についての知識や技術を持っていたとしても、EQを上手に使わなければ過度な「欲」や「不安」、あるいは感情に流された決断を行ってしまい、予期せぬ失敗を繰り返してしまう可能性がありますと考えられます。そのため、投資家向けEQであるTEQを上手に使えるようTEQを向上することは、投資家にとってたいへん重要なことであると考えられます。

そこで、当社は、投資に欠かすことの出来ないTEQを簡易診断できるサービス「TEQ診断」をEQ Japanの協力を得て開発いたしました。今後、「TEQ診断」をお客様への新サービスとして投資活動の一助としてご活用頂き、当社もその効果を検証して参ります。

【TEQの構成】

TEQは「能力」「特性」の大きく2つに整理され、それぞれ以下の4項目毎で構成されています。

「能力」・・・「気力」「自己コントロール力」「鈍感力」「忍耐力」

「特性」・・・「柔軟性」「感受性」「楽観性」「攻撃性」

これらは、投資において必要とされる**決断力**を構成するTEQの「能力」「特性」となります。

【診断できる内容について】

1. 『TEQ フェース・ボディ分析』

「能力」「特性」及び口座の維持率の状態を分析したもので、総合的に適切な状態なのか？それとも適切ではない状態なのか？を人間の顔を見立てて視覚的に捉えることができ、「能力」「特性」については「高すぎる」「適切」「低い」「低すぎる」と4段階で表示し、維持率については、「かなり高い」「高い」「やや高い」「適切」「低い」「かなり低い」「ポジション無し」の7段階で表示します。

2. 『欲・不安分析』

「欲」「不安」のレベルを分析したもので、各々のレベルは高いか？（低いかわ？）を視覚的に捉えることができ、レベル4「高すぎる」から、レベル3「適切」、レベル2「適切」、レベル1「低すぎる」まで4段階で表示します。

3. 『レーダーチャート』

「能力」「特性」のレベルを分析したもので、各々のレベルは適切か？それとも高いか？（低いかわ？）を視覚的に捉えることができ、4段階評価の8軸でレーダーチャート化します。

4. 『診断カルテ』

それぞれ評価された「能力」「特性」の各項目に対して「現在の状態（行動傾向）」を表示し、それに対する参考アドバイスとして「投資スキルアップ術（処方箋）」と「TEQ（感情能力）の能力開発」方法を提示します。

【今後の見通しとFX業界の育成に向けて】

「TEQ診断」の実践検証結果を更に分析し、より精度の高い「TEQ検査（仮称）」へのバージョンアップ、さらには「TEQ向上プログラム（仮称）」の開発を行い、お客様の投資収益向上実現を目指した満足度の向上、新規お客様の囲い込み、そして、投資家保護と健全な市場育成へと努めて参ります。

当社は、今後もお客様を初めとする様々なステークホルダーの皆様のニーズを的確に捉え、様々なサービスを創造し、FX業界の発展に貢献するとともに、当社の企業価値向上の実現を目指して参りたいと考えております。

■ 株式会社イー・キュー・ジャパンについて

株式会社イー・キュー・ジャパンは、EQ理論を基盤とした診断システムの開発、販売、EQ能力開発、育成研修プログラムの開発、販売や組織分析を主とした人事コンサルティング等の事業を展開し、個人の自立と成長を支援し思いやりのある社会づくりに貢献している人材育成支援企業です。

U R L : <http://www.eqj.co.jp/>

会社名 : 株式会社イー・キュー・ジャパン (EQ Japan, Inc.)

本社 : 東京都港区赤坂二丁目 22 番 15 号 TEL(03)5574-8333 FAX(03)5574-8271

代表者 : 代表取締役会長兼社長 高山 直

設立 : 平成9年3月18日

事業概要 : EQ理論を基盤とした検査事業、人材育成事業、組織分析事業等

■ 株式会社マネースクウェア・ジャパンについて

平成14年の創業以来、「挑戦と規律」という企業理念の下、FX業界大手として外国為替証拠金取引(FX取引)における革新的なサービスを提供しております。一定間隔で一定金額の新規注文を同時に複数発注する「トラップトレード®」注文(平成18年6月より、特許取得済み)、イフダン注文の新規と決済の注文を自動的に繰り返し発注する「リピートイフダン®(RIFD)」注文(平成19年7月より、特許取得済み)、また、それらの複合注文である「トラップリピートイフダン®」注文(平成19年12月より、特許取得済み)など、当社独自の多機能な注文方法を取り揃え、お客様に「マネーゲームではない資産運用としての外国為替証拠金取引(FX取引)」を提供しております。

U R L : <http://www.m2j.co.jp/>

会社名 : 株式会社マネースクウェア・ジャパン (MONEY SQUARE JAPAN, INC.)

本社 : 東京都中央区京橋二丁目5番18号 TEL(03)5524-8880 FAX(03)5524-8881

代表者 : 代表取締役社長 山本 久敏

設立 : 平成14年10月10日

資本金 : 1,224,005,000円(平成21年9月30日現在)

事業概要 : 第一種金融商品取引業等(主に外国為替証拠金取引(FX取引)業)

● このリリースに関するお問合せ先

株式会社マネースクウェア・ジャパン IR/広報担当 Tel:03-5524-8880(代表) E-mail:ir@m2j.co.jp

株式会社マネースクウェア・ジャパン

金融商品取引業 関東財務局長(金商)第296号 社団法人金融先物取引業協会 会員番号1507

<取引に関する注意事項>

●取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。当社の外国為替証拠金取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金でお取引を行うため、多額の利益となることもありますが、通貨価格の変動や金利動向の変化により預託した資金以上の損失が生じる可能性があります。また、外貨事情の急変、外国為替市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により外国為替取引が不能となる可能性があります。

●取引手数料は価格上乗せ方式で、新規および決済取引のそれぞれに必要となります。

『M2J Direct』1万通貨単位当たり300円 ※HKD/JPY、ZAR/JPYは1万通貨単位当たり200円

『iFX Style』■iFX-one ■iFX50 1万通貨単位当たり1,000円 ※対ドル通貨は10ドル ※HKD/JPY、ZAR/JPYは1万通貨単位当たり400円

■iFX25 ■iFX-pro 1万通貨単位当たり700円 ※対ドル通貨は7ドル ※HKD/JPY、ZAR/JPYは1万通貨単位当たり300円

●当社が提示するレートは、通常2~8ポイント買値と売値に差があります。

●取引に必要な証拠金額は、取引する商品・取引対象通貨により異なります。

『M2J Direct』取引総代金の2%

『iFX Style』■iFX-one 取引総代金の100% ■iFX 50 取引総代金の50% ■iFX 25 取引総代金の25% ■iFX-pro 取引総代金の4% (平成22年3月1日現在)

以上